

第31回 犯罪対策閣僚会議 議事録

1 日時

令和元年 6 月 25 日（火）午前 8 時 40 分～午前 8 時 55 分

2 場所

総理大臣官邸 4 階大会議室

3 出席者

安倍内閣総理大臣

菅内閣官房長官（司会）

麻生副総理・財務大臣・内閣府特命担当大臣、茂木内閣府特命担当大臣、鈴木東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会担当大臣、石井国土交通大臣、根本厚生労働大臣、世耕経済産業大臣、岩屋防衛大臣、渡辺復興大臣、宮腰内閣府特命担当大臣、平井内閣府特命担当大臣、吉川農林水産大臣、石田総務大臣、山本国家公安委員会委員長、柴山文部科学大臣、片山内閣府特命担当大臣、山下法務大臣、西村内閣官房副長官、野上内閣官房副長官、鈴木外務大臣政務官、菅家環境大臣政務官、杉田内閣官房副長官、横畠内閣法制局長官、沖田内閣危機管理監、長谷川内閣広報官、古谷内閣官房副長官補、兼原内閣官房副長官補、前田内閣官房副長官補、北村内閣情報官、開出内閣官房内閣審議官

4 議事内容

【菅内閣官房長官】

ただいまから、第31回犯罪対策閣僚会議を開催いたします。議事に入ります。

まず、議題（1）の「オレオレ詐欺等対策プラン」（案）について、古谷内閣官房副長官補から説明をお願いします。

【古谷内閣官房副長官補】

お配りしている資料 1 「オレオレ詐欺等対策プラン」（案）の内容について御説明します。

オレオレ詐欺をはじめとする特殊詐欺に関しては、これまでも各種の対策を講じてきたところでありますが、依然として深刻な被害状況にあります。特に、高齢者が被害に遭う割合が高く、最近では高齢者から電話で資産状況を聞き出して強盗に及ぶという新たな手口も発生しており、国民の不安感が増大しております。

本プランは、特殊詐欺から高齢者を守るため、政府を挙げた総合対策について取りまとめたものです。

資料1-1の概要版を御覧ください。まず、「1」として、全府省庁において、幅広い世代を対象とした広報啓発活動を更に推進するなど、被害防止対策を推進してまいります。「2」として、電話転送サービスを介した固定電話番号の悪用等の犯行ツール対策を推進してまいります。「3」として、犯罪者グループ等に対する効果的な取締り等を推進してまいります。

今後も政府一体となって、幅広い機関・団体・事業者の協力を得つつ、本プランに迅速に取り組んでまいります。

【菅内閣官房長官】

ただ今の説明に関連して、山本国家公安委員会委員長から御発言をお願いします。

【山本国家公安委員会委員長】

警察の取組について御説明します。資料2を御覧ください。

特殊詐欺被害に遭わないようにするためには、高齢者のみならず、その子や孫世代も含めて、家族間で平素から連絡を取り合うことが重要であります。

そこで、杉良太郎特別防犯対策監をはじめとする幅広い世代に対し高い発信力を有する著名な方々により結成されたオレオレ詐欺予防プロジェクトチーム、SOS47と連携して、家族の絆の重要性等を訴える広報啓発を推進しております。

具体的には、これらメンバーの方々を起用した動画やポスターを制作し、テレビCMや公共施設のデジタルサイネージ（電子看板）等のあらゆる広報媒体や場所において放映・掲示されるよう取り組んでいるほか、都道府県警察が実施する様々な広報啓発イベントにメンバーの方々に参加いただいて、被害防止を呼び掛けていただくなどしております。

本プランの策定後、引き続き、プロジェクトチームと連携し、公的機関はもとより、経済団体をはじめとする社会のあらゆる分野に係る各種団体、民間事業者等の幅広い協力も得ながら、国民が力を合わせて特殊詐欺の被害防止に取り組むよう、広報啓発活動を展開してまいります。

また、取締りについても、引き続き、実行犯等の検挙に加え、背後にいるとみられる暴力団や準暴力団等の犯罪者グループ等に対する多角的・戦略的取締りを推進するなど、検挙と抑止の両面から必要な取組を推進してまいります。

特殊詐欺については、本年に入り、認知件数、被害額が前年より減少しているなど、その諸対策に手応えを感じております。

関係閣僚の皆様方におかれましては、特殊詐欺被害を防止するための広報啓発活動をはじめとする諸対策が幅広く、効果的に実施されるよう、更なる御理解と御協力をお願い申し上げます。

【菅内閣官房長官】

続きまして、麻生内閣府特命担当大臣から御発言をお願いいたします。

【麻生内閣府特命担当大臣】

振り込め詐欺の被害に遭う方は、親族を装った人から、「事故に撒き込まれ、急に金銭が必要になったので、至急振込んで欲しい」との電話を受け、動揺している方が多いので、まずは冷静になり、状況を確認してもらうことが被害の未然防止の観点から重要であり、金融機関の窓口等で本人に声掛けや注意喚起を徹底していきたいと思えます。

また、最近では、金融庁職員や警察官を騙って、本人の自宅を訪問したり、全銀協を騙り、「改元に伴いキャッシュカードの変更が必要」との封書を送付したりして、キャッシュカードを詐取し、暗証番号を聞き出すなど、手口が多様化・巧妙化しています。こうした被害の防止に向けた、国民への広報啓発活動が重要と考えます。

この他にも、金融機関に対しては、犯罪に利用された口座の凍結や一定期間利用がない口座の利用制限等、犯罪の未然防止に向けた取組を促してまいりたいと思えます。

【菅内閣官房長官】

続きまして、石田総務大臣から御発言をお願いいたします。

【石田総務大臣】

総務省は、電気通信業を所管する立場から、特殊詐欺に用いられる電話に関する対策に取り組んでおります。

現在、特殊詐欺に利用された携帯電話について、サービス提供拒否の取組を推進しているほか、特殊詐欺に悪用され得る電話転送サービス事業者に対し、本人確認を徹底するよう指導監督しています。

また、今後の取組として、特殊詐欺に利用された固定電話の番号の利用停止を含めた対策の検討を進めています。

総務省としては、これらの施策を、警察庁や関係事業者と連携し、推進してまいります。

【菅内閣官房長官】

続きまして、宮腰内閣府特命担当大臣から御発言をお願いいたします。

【宮腰内閣府特命担当大臣】

消費者及び食品安全担当大臣として発言します。

昨今、架空請求が急増していることから、昨年7月、消費者庁を中心に「架空請求対策パッケージ」をとりまとめ、高齢者等の消費者トラブルを防止するための「見守りネ

ットワーク」の設置、防犯機能を備えた電話機の普及の促進を図ること等を定めたところ
です。

このパッケージに加え、特殊詐欺を対象とする今回のプランを車の両輪として、特に、
地方の現場における警察との連携強化を図り、特殊詐欺による被害の発生防止に向けた
効果的な施策に取り組んでまいります。

【菅内閣官房長官】

続きまして、山下法務大臣から御発言をお願いいたします。

【山下法務大臣】

法務省としては、現在、犯罪をした者等の再犯の防止に向け、再犯防止推進計画に基
づく各種取組を強力に推進しているところです。オレオレ詐欺等対策については、例え
ば、少年院における非行防止教室の開催を始め、特殊詐欺に加担した少年の再非行防止
のための取組などをしっかりと進めてまいります。

また、来月1日から、再犯防止啓発月間、そして、社会を明るくする運動の強調月間
が始まりますので、これらの機会も利用しつつ、オレオレ詐欺等の被害防止について、
積極的な広報・啓発活動を展開してまいります。

【菅内閣官房長官】

それでは、「オレオレ詐欺等対策プラン」について、本閣僚会議の決定とすることと
したいと存じますが、御異議ございませんでしょうか。

【異議なし】

【菅内閣官房長官】

御異議がないようですので、原案のとおり、本閣僚会議の決定といたします。

それでは続きまして、議題（2）の「登下校時の子供の安全確保に関する取組」につ
いて、まず柴山文部科学大臣から御発言をお願いします。

【柴山文部科学大臣】

資料「川崎市における児童等殺傷事件を受けた政府の取組」を御覧ください。川崎市
における児童等殺傷事件を受けて、文部科学省では、「通学路の安全確保」として、ス
クールバスの乗車場所等について、全国の小中学校で点検を実施し、危険な箇所に関す
る情報を警察や自治体間に共有する取組を進めていきます。

また、見守り活動の強化として、地域の見守り活動の中心を担うスクールガード・リ
ーダーの配置を促進するとともに、見守り活動時の対処能力を高めるために必要な装備

品の配備を支援します。

さらに、「その他の取組」として、私立学校を含む各学校において学校安全計画・危機管理マニュアルの策定を徹底するとともに、学校・警察等の地域の防犯関係者が連携する「地域の連携の場」への私立学校・国立学校の参画を促進してまいります。

昨年6月に策定された「登下校防犯プラン」に基づく各種取組の確実な推進を含め、関係省庁と緊密に連携しながら、登下校時の児童生徒等の安全確保について、しっかりと取り組んでまいります。

【菅内閣官房長官】

続きまして、山本国家公安委員会委員長から御発言をお願いいたします。

【山本国家公安委員会委員長】

先月29日の関係閣僚会議における総理からの御指示を受け、警察では、「登下校防犯プラン」に加え、新たに次のような取組を進めています。

資料3の①を御覧ください。犯人の男は、犯行直後に自殺しておりますが、現在、犯行の動機・背景を含め、その全容解明に向けて捜査を行っています。また、事件に関する情報を関係省庁と共有しています。

②を御覧ください。登下校時間帯における集団登校の集合場所等について、警察官による警戒・パトロールを重点的に実施するなど、警戒活動等を推進しています。

③を御覧ください。警察署との不審者情報等の共有について、小学校に加え、全国の国公私立中学校等との間においても、体制を構築することとしています。

この他にも、資料の④に記載しておりますように、警察署が、見守り活動を行っている地域住民や防犯ボランティア等に対し、見守り体制及びその実施内容等について、きめ細かく指導を行うこととしています。

登下校時における子供の安全を確保するためには、学校、自治体、保護者や地域社会の方々が結束することが不可欠です。引き続き、関係省庁や関係機関と連携し、各種取組を進めてまいります。

なお、これらの取組を進めるに当たっては、児童や国民を守る警察自身が精強である必要があります。先般発生した、警察官が拳銃を奪われる事案の再発を防止するための取組を充実させてまいります。以上です。

【菅内閣官房長官】

ほかに御意見のある方は御発言をお願いします。

これからカメラが入りますので、しばらくお待ちください。

(プレス入室)

【菅内閣官房長官】

最後に、安倍内閣総理大臣から御指示を頂きます。

【安倍内閣総理大臣】

子や孫を想う家族の気持ちにつけ込んだ「オレオレ詐欺」をはじめとする特殊詐欺は、極めて卑劣な犯罪です。これまでも各種の対策を講じてまいりましたが、認知件数・被害額共に高水準で推移しており、依然として深刻な情勢が続いています。被害者の約8割を占める高齢者が今後ますます増えていく中、決して看過することはできません。

犯行グループに対する取締りを進めることはもとより重要ですが、同時に、被害の未然防止を強力に推進するため、本日、「オレオレ詐欺等対策プラン」を決定しました。政府が一体となり、犯行に利用される電話転送サービス等のツール対策を進めるとともに、あらゆる機関・団体・事業者の御協力もいただきながら、高齢者からその子や孫世代まで幅広い世代を対象に、「家族間で平素から連絡を取り合うことで、特殊詐欺の被害を防止していく」との広報啓発を推進してください。

また、子供の安全確保は、安全安心な社会の要です。登下校時の子供たちをねらった事件の再発を決して許してはなりません。

登下校防犯プランに基づく各学校における安全対策の取組状況について今一度検証しつつ、私立学校を含む全ての小中学校と、地域住民や警察その他の関係機関との連携を強化します。

また、子供たちの見守り活動を担うスクールガード等の対処能力の向上や、子供たちに対する実践的な防犯教育の推進など、対策の実効性を高める取組も迅速に進めてまいります。

今週末にはいよいよG20大阪サミットが開催されます。各大臣の強いリーダーシップの下、政府一体となって、警備の万全を期すようお願いします。

(プレス退室)

【菅内閣官房長官】

ありがとうございました。

それでは、これで本日の会議を終了いたします。

以 上